

わたしたちの

エキキタ

どうすれば
いいのか会議

第一回会議 開催レポート

- 01 | この会議について
- 02 | 会議の開催目的
- 03 | 今日、どうすればいいのか。
- 04 | ワーク① アイスブレイク
- 05 | ワーク② ペルソナ作成
- 06 | ワーク③ チームづくり
- 07 | ワーク④ コンセプト設定
- 08 | 考察
- 09 | まとめ

1.この会議について

わたしたちの『まつなが』どうすればいいのか会議

- ・福山・松永合併60周年記念事業として開催する会議
- ・松永地域の様々な場所で「わたしたちの『松永』を考える場」としてこれからその場をどうしていきたいかを考えていくワークショップ
- ・シリーズ第1回目として「エキキタ・カラコロ広場」を考えた

1.この会議について

©まつながまるっとプロジェクト

開催日時・・・ 2026年5月31日(日)9:00-11:00

開催場所・・・・・・・まつながるカラコロ広場

参加者数・・・・・・・・・・・・・・・・15人



2.会議の開催目的

2.会議の開催目的

©まつながまるっとプロジェクト

松永駅北口の遊休地を駅周辺の活性化のために芝生広場として整備し、
まつながハロウィンやカラコロ夜店で生まれた
『**非日常の賑わい**』を『**日常的な賑わい**』に繋げるための場として
【**まつながるカラコロ広場**】がこの夏にお披露目される。

ただ、人工芝とベンチを置いただけで
人が集まる広場になるのだろうか。

「この広場で、どんな人が、どんな時間を過ごしたくなるか」
理想は**考えて設計された広場** にターゲットがやってくること。

広場の設備は来たくなる理由の一つに過ぎない。

『設備』を考えるのではなく、 『来たくなる理由と価値』を考える

可能性溢れる広場を、多様な属性をもつ参加者の皆さんと
共に考えて実現に繋げていきたいと思い、開催に至った。

3.ワークショップの流れ

3.ワークショップの流れ

©まつながまるっとプロジェクト

アイスブレイク



ペルソナ作成



グループ共有



コンセプト設定



アイデア整理



発表

3.ワークショップの流れ 考え方

©まつながまるっとプロジェクト

例

キッチンカーを呼ぶ

なぜ

人が集まるから？

それはペルソナが訪れる価値や理由？

他のアイデアに繋がるかも

本質的な理由

立ち寄るきっかけに

待ち時間を潰せる

食べに行くという言い訳ができる

4.ワーク① アイスブレイク

5.ワーク② ペルソナ作成

5.ワーク② ペルソナ作成

このワークショップで重要な役割を果たしてくれる
ペルソナ(=架空の対象者)を作成しました！

「この年齢だと...」「こんな設定だとリアルだな」「私の実体験」など
自分のペルソナや他のペルソナにとっての困っていそうなことを
どんどん挙げてきましょう！

その後、その課題や困りごとを『広場』で解決したり解消できるような
『機能や設備』のアイデアをみんなで考えてみましょう！

5.ワーク② ペルソナ作成

©まつながまるっとプロジェクト

わたしたちの『エキキタ』どうすればいいのか会議01
ワークシート②

ペルソナ設定①

この広場を使う架空の人物を創り上げましょう！
自分自身でも、目の前にいる人でも、全く知らない人でもOK

① 名前	② 所属や立場、ステータス	③ 年齢	④ 性別
三島キミコ	一人暮らし	85歳	女性
⑤ いつ松永駅や駅前を使う？（通勤・通学、生活など）			
松永駅北口に居住しているため、 散歩のコースにしている。			
⑥ 誰と使う？（一人？二人？友達？同僚？）	⑦ どのくらい使う？（頻度・時間）		
散歩友達（80代）	毎日夕方・30分程		
⑧ どんな時間を過ごしたい？（季節を感じられる、ゆったりできる、話ができるなど）			
散歩友達とゆっくりと話をしながら 散歩ができる時間を過ごしたい			
⑨ 何があると嬉しい？（座る場所、陰、木、電源など具体的なモノでも抽象的な概念でもOK）			
歩いていると疲れるので 座れるベンチがほしい			

わたしたちの『エキキタ』どうすればいいのか会議01
ワークシート③

ペルソナ設定②

この広場を使う架空の人物はどんなことに困っていますか？
ワークシート②や自分の体験から考えてみましょう。

⑩ 普段の生活で困っていることや壁は？（心身の不調や待ち時間の潰し方、バリアフリーなど）
年を取って足腰が悪くなってきた 一人暮らし（配偶者は他界）で寂しい 車を持っていないので遠出ができない
⑪ ⑫の困っていることを解消するために広場に求められる機能は？
ゆっくり休憩できるベンチ 雨でも毎日話に来れるように屋根 野菜や洋服が買えるようなイベント
⑫ ペルソナが広場に求める絶対条件（価値）は？

先程のワークで考えた①から⑪までの設定を振り返って
ペルソナが一番広場に求めている【**必要絶対条件**】=価値を
一言でまとめました

6.ワーク③ チームづくり

7.ワーク④ コンセプト設定

チームメンバーの【**必要絶対条件**】を聞いて
共感した言葉や価値を足したり、合わせたりして
チームとしての**コンセプト**を書きました！

7.ワーク④ コンセプト設定

©まつながまるっとプロジェクト

仲間を求められる広場！

・連絡板・フリーペーパー・QRコード

身近な人が使える広場！

・掲示板・SNSでの情報発信・イスやベンチ

情報が集まる広場！

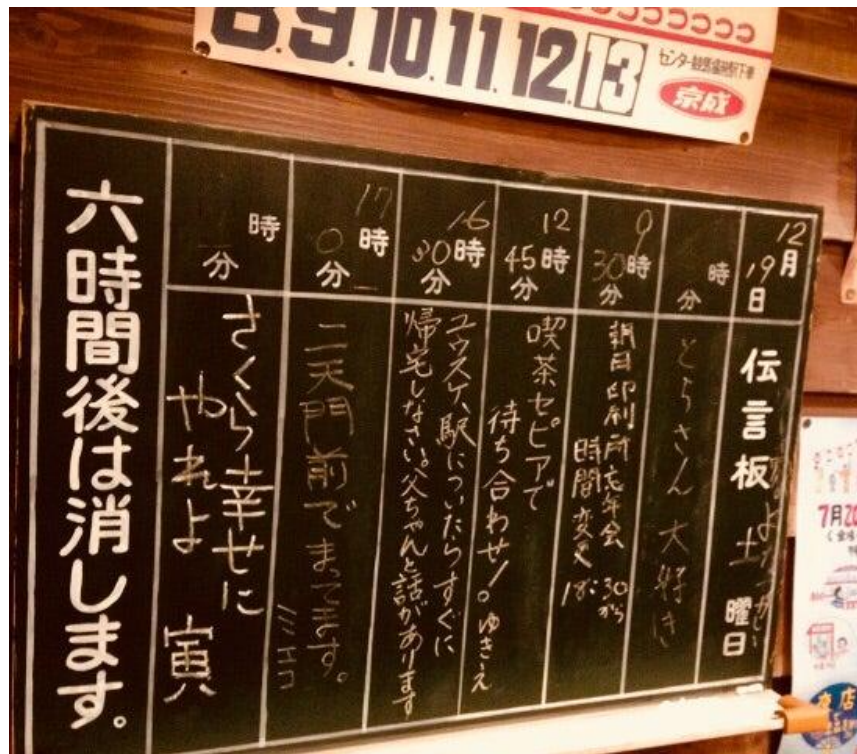
・伝言板・フリーWi-Fi

ふらっとおしゃべりができる広場！

・誰でも使いやすいトイレ・陰・休めるベンチとテーブル

伝
言
板

8.考察



[伝言板]

昔、改札の前にあった伝言板には
 「今日、〇〇にいます」
 「〇〇に集まりましょう」のように
 LINEなどがなかったからこそ
 多くの人を使う場所(駅)に
 置かれていた。

現代の伝言板復活！！【カラコロ伝言板】

LINEや電話が普及し、人と会わなくても繋がれる時間になったからこそ、リアルに会える時間(オフラインの時間)を楽しめる場になれば良いのではないか。

昔の伝言板は個人対個人のやり取りが多かったのだろうが、【カラコロ伝言板】は見知らぬ誰かから見知らぬ誰かに対してのメッセージがあっても面白いのではないだろうか。

今回のワークショップでは「会話」「ゆとり」「出会い」などのキーワードが多く上がった。個々の時代になっているからこそ、偶発的な出会いが生まれる「誰かの存在を感じる場所」としてカラコロ広場を位置づけると良いのかもしれない。

そこに行けば「何かあるかも・誰かいるかも」と感じられ、滞在できる場づくり

9.まとめ

今日は『設備』を考えるのではなく、
『来たくなる理由と価値』を
参加者とペルソナの立場から考えました。

具体的なアイデアより理由を大切にすることで
本質的な「感覚」や「価値観」が見えてくるように設計しています。

『何を置くか』を直接決めずに

『なぜ必要なのか』という理由を探る中で

そのために必要な【モノ】が思い浮かんでいれば
次はアイデアを形にする番です。

次回は「**どう実現させていくか**」を。

『カラコロ伝言板』を軸に

偶発的な出会い が生まれる広場にするために

必要なものや機能を次回は考えていきたい。

10.写真

©まつながまるっとプロジェクト



10.写真

©まつながまるっとプロジェクト



10.写真



10.写真

©まつながまるっとプロジェクト



10.写真

©まつながまるっとプロジェクト



10.写真

©まつながまるっとプロジェクト



10.写真

©まつながまるっとプロジェクト



わたしたちの

エキキタ

どうすれば
いいのか**会議**

第一回会議 開催レポート